JL シリーズ

タカギ　混合栓施工説明書

takagi

蛇口一体型浄水器　みず工房 エコ2ホール水栓

■施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
■ここに示した「安全上のご注意」は状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載しています。必ず守ってください。
■施工完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、取扱説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。
■給排水管工事は専門業者でお願い致します。

安全上のご注意

本品を安全に正しくお使いいただく前に

絵表示について　製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されている内容を示しています。

⚠注意　この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定されている内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は、禁止行為であることをお知らせするものです。図の中や近くに具体的な「禁止」内容を示しています。

❗記号は、必ず実行していただくものです。図の中や近くに具体的な「強制」内容を示しています。

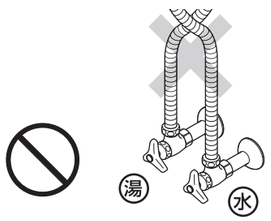
⚠警告

・必ず製品に付属の部品を使用して施工してください。
・故障や水漏れの原因になります。修理技術者以外の人は、水栓内部を分解しないでください。

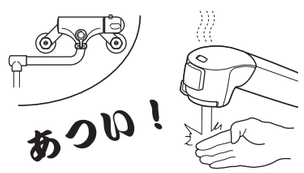
⚠注意

やけどをするおそれがあります

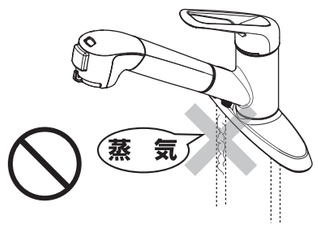
●湯水を逆に配管しないでください。



●他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯温が使用中に急上昇する事があります。



●給湯に蒸気を使用しないでください。



●60℃を超える高温でご使用になると器具が破損し、浄水器としての性能を維持できなくなる場合があります。また、誤操作によるやけど防止のため、給湯温度は60℃を超える高温で使用しないでください。

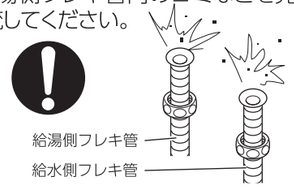
湯・水が噴き出てやけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

●水抜き栓を開けると高温の湯が出るおそれがあります。事前に吐水して、高温の湯が出ないことを確認してから水抜きを行ってください。

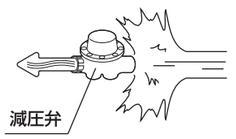
⚠注意

水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

●新設の場合、水栓を取り付ける前に、給水側・給湯側フレキ管内のゴミなどを完全に洗い流してください。

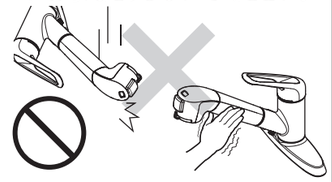


●高水圧地区では減圧弁を設置してください。



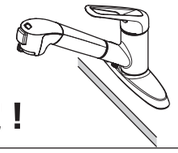
※設置条件参照

●製品を落としたり、強い力や衝撃を与えたりしないでください。

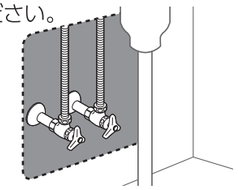


●水栓及び各接続部は浮きや緩みがないように、しっかり固定してください。各接続部が確実に固定されていないと水栓が傾いたり、水漏れが発生する可能性があります。

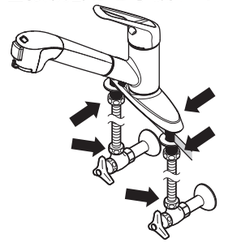
しっかり固定！



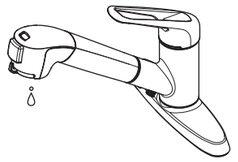
●定期的に止水栓取り付け箇所や給水側・給湯側フレキ管と止水栓の接続箇所の点検がされていないと、万一の漏水発生時に発見が遅れるおそれがあります。各接続箇所の確認が行えない場合は、確認しやすい位置に点検ができる窓（点検口）を設置してください。



●施工完了後は、水栓及び各接続部から水漏れのないことを確認してください。

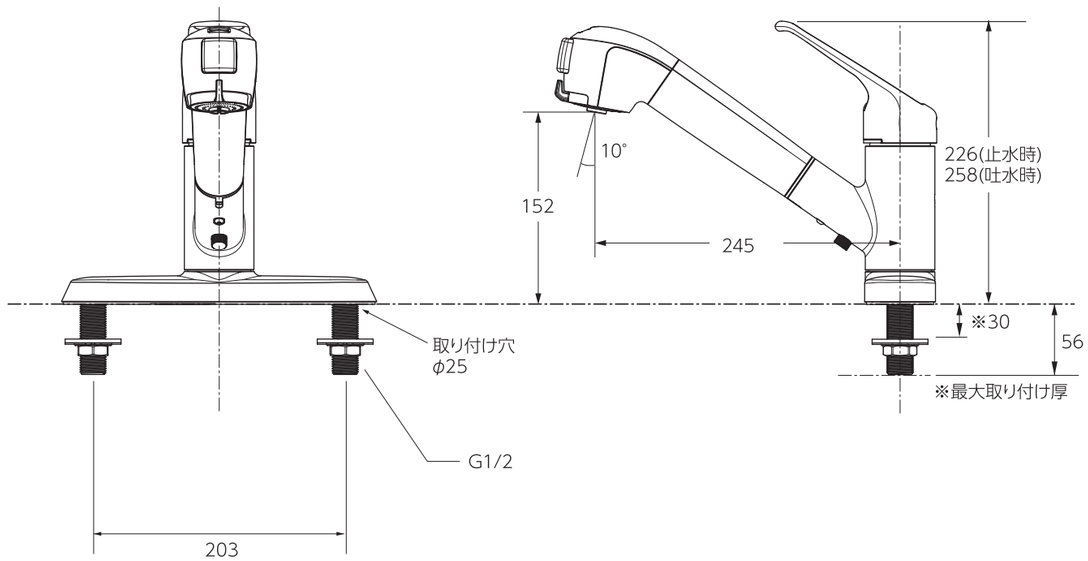


●冬期に施工完了し、お客様にお引き渡しするまでの間、凍結による破損が予想されますので、水抜きなどの予防処置を行ってください。



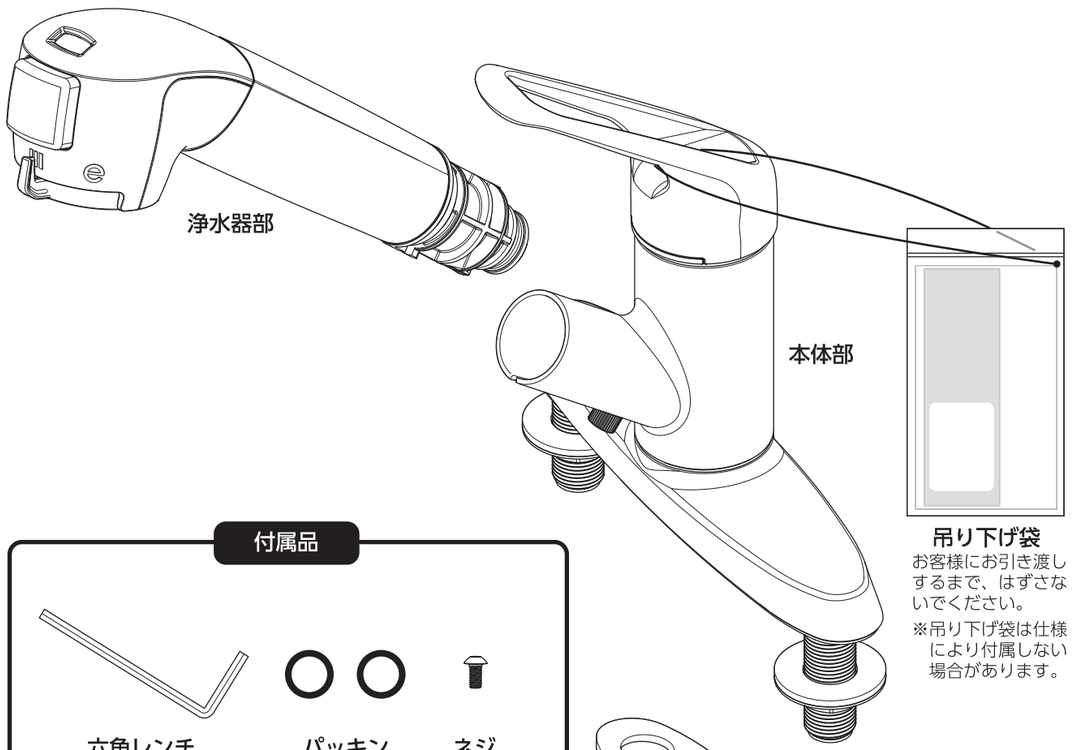
⃠ 温泉水など、異物を多く含む水には使用できません　※給水は上水道に接続してください。

外観寸法図



部品の確認

水栓・付属品



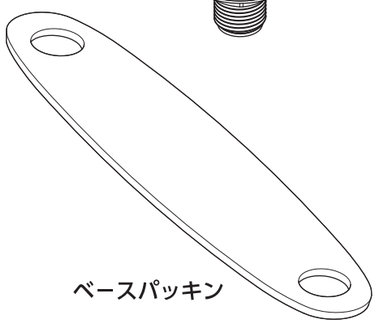
吊り下げ袋
お客様にお引き渡しするまで、はずさないでください。
※吊り下げ袋は仕様により付属しない場合があります。

付属品

六角レンチ

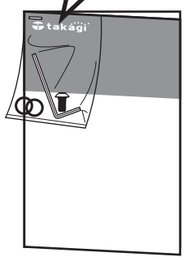
パッキン

ネジ

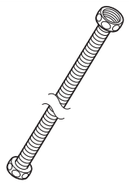

ベースパッキン

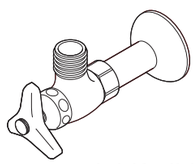
その他

施工説明書


取扱説明書

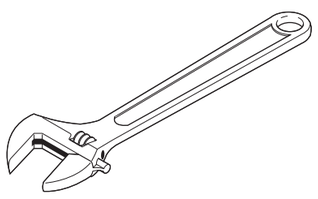
準備する部品


フレキ管（例）


止水栓（例）

水量調整及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
※ネジ規格はG1/2です。

必要な工具類


モンキーレンチ

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

設置条件

■水圧条件

■給水・給湯圧力範囲は動水圧0.05MPa～静水圧0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。推奨圧力は静水圧0.2MPa～0.3MPaです。給水圧力が静水圧0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で静水圧0.2MPa程度の適正圧力に減圧してください。但し、給湯圧力は給水圧より高くならないように設定してください。

■給湯配管は最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

※給水圧力と給湯圧力は圧力差が少ない程、温度調節が容易になります。

1.施工方法

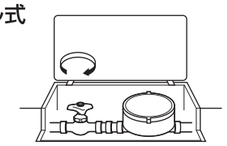
※新設の場合は「1-❷パイプ用ニップルから固定ナット、固定座金、固定パッキンを取りはずす」に進んでください。

1-❶水道配管の止水栓を閉める

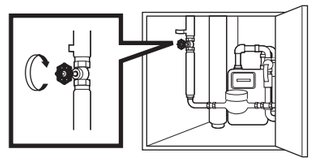
止水栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、止水栓を右にまわして閉めます。
※一部の地域では左まわしの場合もあります。

●キー式

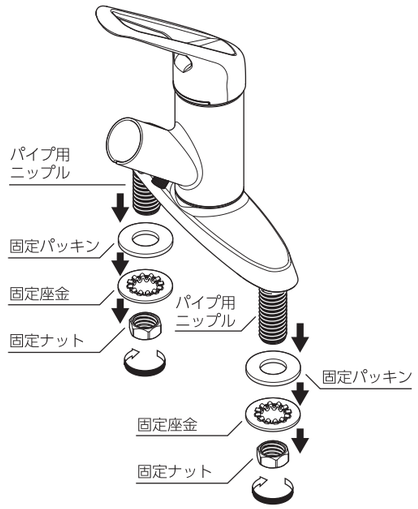
●ハンドル式



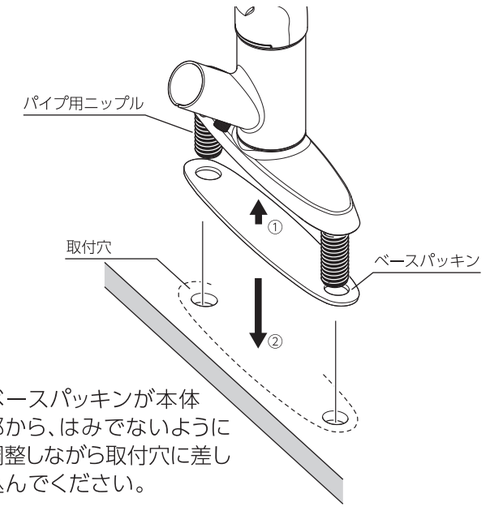
●マンションなどの中高層住宅の止水栓ボックス



1-❷パイプ用ニップルから固定ナット、固定座金、固定パッキンを取りはずす



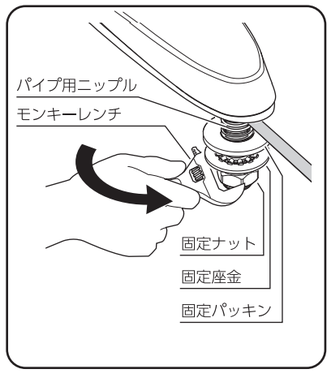
1-❸ベースパッキンを本体に取り付け、取付穴にパイプ用ニップルを差し込む



ベースパッキンが本体部から、はみでないように調整しながら取付穴に差し込んでください。

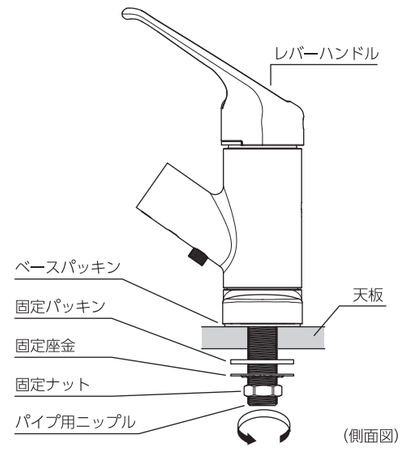
1-❹本体部の取り付け

パイプ用ニップルに、固定パッキン、固定座金を通し、固定ナットを締め込みます。



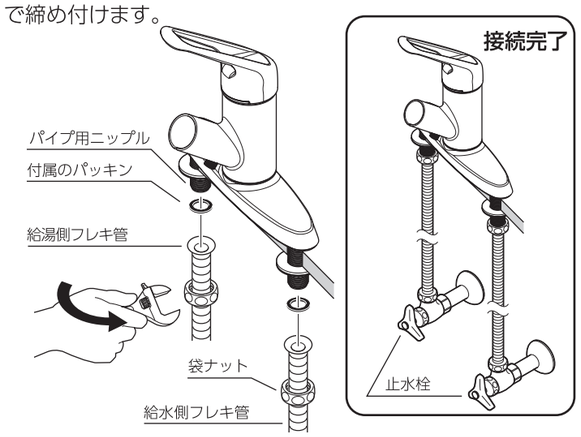
※固定パッキン、固定座金、固定ナットの順番を間違えないようにしてください。

⚠注意
●天板に本体部を取り付ける際、不安定な場合は「あて木」などで補強を行ってください。



1-❺給水側・給湯側フレキ管を接続する

給水側･給湯側フレキ管をパイプ用ニップルに押し当て､袋ナットで締め付けます。

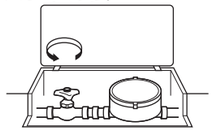


1-❻水道配管の止水栓を開ける

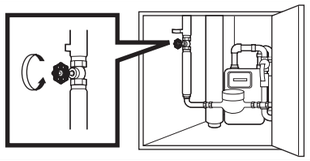
シンク下にある止水栓が閉じていることを確認してから、止水栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、止水栓を左にまわして開けます。
※一部の地域では右まわしの場合もあります。

●キー式

●ハンドル式

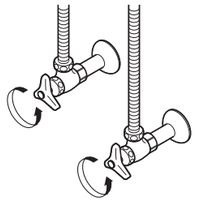


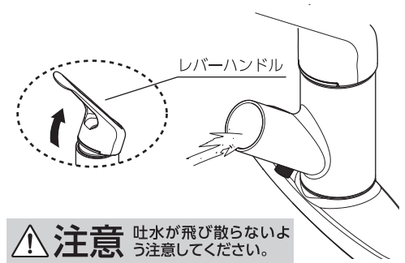
●マンションなどの中高層住宅の止水栓ボックス



1-❼浄水器部を取り付ける前に給水側･給湯側フレキ管内のゴミなどを洗い流す

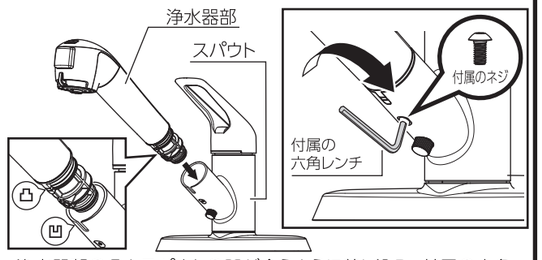
レバーハンドルが閉じているのを確認してから､シンク下の水側･湯側止水栓を開け､レバーハンドルを上げて給水側･給湯側フレキ管内のゴミなどを完全に洗い流してください。その後レバーハンドルを下げて閉じてください。





⚠注意 吐水が飛び散らないよう注意してください。

1-❽浄水器部を取り付ける



浄水器部の凸とスパウトの凹が合うように差し込み､付属の六角レンチで付属のネジを充分に締め込みます。

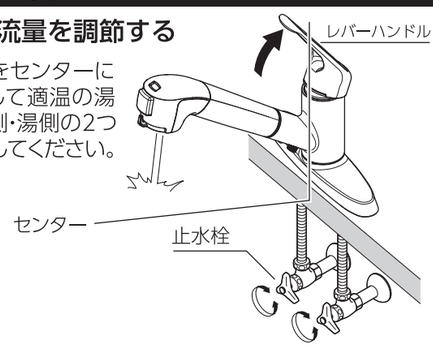
※付属のネジのネジ穴をなめないよう気をつけてください。
※付属の六角レンチは袋に戻し､取扱説明書といっしょに保管してください。
※付属の六角レンチで固定する際､本体部などに当たらないように気をつけてください。

⚠注意 付属のネジの締め込みが足りないと浄水器部がぐらつき､漏水の原因となります。

2.取り付けが終わったら

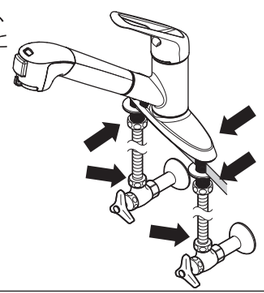
2-❶止水栓で流量を調節する

レバーハンドルをセンターに合わせ､全開にして適温の湯が出るように水側･湯側の2つの止水栓を調節してください。



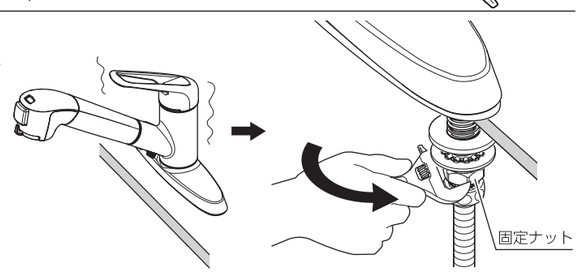
2-❷各接続部の水漏れがないかをチェックする

施工完了後は､配管接続部､水栓から水漏れのないことを確認してください。



2-❸本体部がガタついていないかをチェックする

施工完了後、本体部にガタつきがある場合は、固定ナットを回し、締め込んでください。



■アフターサービスについて

破損した部分の交換や設置、使用上のご不明点など、本商品に関する事柄は、当社までお問い合わせください。

■商品に関するお問い合わせは

タカギ・コミュニケーションセンター　ミズは よい水
通話料無料 0120-328-413
24 時間電話受付（年中無休）

製造元 株式会社 タカギ
http://www.takagi.co.jp/